

大量破壊兵器関連物資等の不正輸出

国際的な取組

平成24年3月、オバマ米大統領の提唱で開始された核セキュリティ・サミットの第2回会合が、韓国・ソウルで開催され、テロリストに核物質が渡ることを防ぐための国際協力を盛り込んだ共同声明「ソウル・コミュニケ」が採択されました。

近年、大量破壊兵器、ミサイルやその関連物資の拡散を阻止するため、各国がその移転や輸送を阻止する措置を検討・実践する国際的な取組（PSI：Proliferation Security Initiative）が活発になっています。

警察は、NBCテロ対応専門部隊を派遣して訓練に参加するなど、PSIに積極的に参画しています。



北海道新千歳空港で行われたPSI航空阻止訓練におけるNBCテロ対応専門部隊による貨物検査（24年7月）

違法行為の取締り

警察は、大量破壊兵器の拡散が国際安全保障上の重大な関心事項となっていることを踏まえ、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出の取締りを積極的に推進しています。

24年中には、中国の企業等に軍用部品の製造に使用され得る半導体製造装置のプログラムを不正に提供した事件を検挙しました。

これまでの事件をみると、第三国を経由した迂回輸出や摘発逃れを目的とした輸出名義人の偽装等の実態が確認されるなど、犯罪の手口は今後ますます巧妙化していくとみられます。

警察では、国内外の諸情勢を的確に把握・分析し、関係機関との緊密な情報交換を行うことなどにより、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出の取締りを強化していくこととしています。

半導体製造装置使用プログラムの不正提供事件

